



平成 24 年 1 月 28 日(土) のしろまち灯り・ろうそく作り 編

1/28(土)、「のしろまち灯り・冬」の大事な準備であるろうそくづくりが、子ども館で行われました。このろうそく作り、今回は節目の 10 回目を迎えます！雪の吹き荒れるあいにくのお天気でしたが、午前・午後の部合わせて約 80 人の方にご参加頂き、大変盛況となりました。

ろうそくの材料は廃食油。市の給食センターから頂いたものです。「楽しくたくさん作りましょう」という子ども館の浅野さんのご挨拶のあと、早速作業にとりかかります。

80℃まで熱し凝固剤を溶かした廃食油を、子供たちが銀色のカップに注いでいきます。油を入れたら、改良に改良を重ねた芯をたて、ろうそくづくりは終わりです。あつーい油を扱う子供たちの目は真剣そのもの。一つ一つの作業を丁寧に集中して行う姿が印象的でした。

ろうそく作りの合間に、廃食油から作れる他のものも知ってもらう目的で、子供たちには廃食油からの BDF(バイオディーゼル)作りの実験に参加してもらいました。ゴーグルをかけた手袋をはめ、ほんものの実験器具(ピペット)を扱う実験は、子供たちも大好きです。手の小さい子供たちにとってピペット操作は難しいのですが、何回もチャレンジして、最後にはピペットを上手に扱える子も出てきました。

そうこうしている間にろうそくが固まり、完成です！今回は皆さんの頑張りで、約 300 個ものろうそくを作ることができました。本当にありがとうございました。子供たちは、ろうそく作りの達成感、実験のわくわく、お土産用のろうそくを持って、楽しく帰宅できたことと思います。

「のしろまち灯り・冬」は、2012 年 2 月 11 日(土)17 時から 20 時まで、上町中央商店会を中心に行われます。当日は BDF で走るエコバスツアーやあったかメニューの屋台も開催されます。ろうそくの心温まる優しい光の彩りと共に、まち灯りをぜひお楽しみ下さい。

文：佐々木 順子



この日は NHK の取材もありました。能登さんからのスタッフ紹介を皮切りに早速スタート。最後に灯されたあかりにも、みな興味深々でした。



毎回大人気の BDF 作りの実験。興味を持ってもらうには、見た目に「カッコいい」ことも重要です。



おみやげのろうそくは、お寺からいただいたろうそくに色をつけたもの。みんなお気に入りの一つと持って帰ってくれました。